

石巻市学びサポートセンター

石巻市学びサポートセンター【コイル】



1 設置にあたって

(1) 教育機会確保法の施行

(略) 当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。）に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする【第13条】。

(2) 令和4年度における石巻市の不登校の現状 ※括弧内は、前年度比

小学校／不登校児童数：121名（+36名） 中学校／不登校児童数：280名（+46名）

【不登校の理由】

友人との人間関係、学業の不振、親子の関わり、生活のリズムの乱れ・遊び・非行、無気力・不安など。
また、これらの理由を複数組み合わせる児童生徒及び保護者がいる。

2 目的

- (1) 様々な理由で学校に行けなくなった児童生徒について、学習機会を確保することと、社会的な自立に向けた支援を行う。
- (2) 相談機関や民間の団体等とつながり、学校と、児童生徒・保護者の橋渡し役を担う。

3 当センターの機能について

(1) 相Talk（あいとーく）

児童生徒・保護者に対し、電話や来所、訪問による相談を行う。児童生徒が抱える悩みや課題に合わせて、COIL内の心Reachや学Baseはもちろん、外部の関係機関等と、つながることができるよう、コーディネート役割を果たす。



相Talk

(2) 心Reach（ここりーち）

学校の別室や、学校に行けずに家庭等で学んでいる児童生徒を訪問し、学習支援を行う。さらに、学習の状況を学校に報告・情報交換し、児童生徒のよりよい学びへとつなげていく。



心Reach

(3) 学Base（まなべーす）

学校で学ぶことが難しい児童生徒が通所して学習する機会の確保と、社会的自立に向けた支援を行う。指導員は、自分に合った学び方を選択・決定して学習することをファシリテートする役割を果たす。



学Base

4 センターの機能拡充に向けて

- (1) 令和4年度の調査から、不登校児童生徒のうち、フリースクール等に40名が通っていることが分かった。フリースクール等に通う児童生徒を、学びサポートセンターの指導員が訪問し、学習支援することで出席扱いとなるような学校との連携強化を図っていくようにする。
- (2) 学Baseにおける個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、ICTを活用し、学びサポートセンターと学校等をつないだオンライン学習を積極的に取り入れていけるよう、学校との授業づくりの連携を図る。

令和4年度 不登校関係資料

1. 不登校の実態

①不登校児童生徒数

小学校		
令和4年度		令和3年度
1年生	12	4
2年生	7	9
3年生	15	11
4年生	20	21
5年生	41	10
6年生	26	30
合計	121	85

②不登校出現率

小学校				
	市出現率	児童数	全国	県
平成27年度	0.61%	7016	0.42	0.47
平成28年度	0.78%	6769	0.48	0.52
平成29年度	0.73%	5577	0.54	0.66
平成30年度	1.07%	6518	0.70	0.81
令和元年度	1.09%	6426	0.83	1.02
令和2年度	0.81%	6318	1.00	1.05
令和3年度	1.38%	6172	1.30	1.46
令和4年度	1.98%	6124		

中学校		
令和4年度		令和3年度
1年生	81	67
2年生	104	89
3年生	95	78
合計	280	234

中学校				
	市出現率	生徒数	全国	県
平成27年度	3.45%	4031	2.83	3.53
平成28年度	4.99%	3927	3.01	4.08
平成29年度	5.29%	3761	3.25	4.30
平成30年度	5.89%	3517	3.65	4.87
令和元年度	6.25%	3406	3.94	5.10
令和2年度	6.05%	3323	4.09	4.61
令和3年度	7.02%	3334	5.00	6.01
令和4年度	8.60%	3254		

2. 不登校対応状況

①適応指導教室

本通所 11名【小学校3、中学校8】

→復帰 1名、部分登校 5名

②サポートハウス

学校支援 学校訪問回数 総数 443回

支援児童生徒数 総数 225名

家庭訪問支援 家庭訪問回数 総数 44回

訪問児童生徒数 総数 7名

3. フリースクール等の利用

小学校 18名

中学校 22名

内訳	ぽはっく	TEDIC	カズライフサポート	その他
小学校	3	1	1	13
中学校	4	9	0	9